

【ねがいましては】

第81号

平成8年1月25日

共和珠算学習塾

「人らしさ」

新しい年がきて「心機一転」また多くのことを学ばせてもらうのだなと思い、授業がはじまりました。一年一年と年はぐりぐりと回ります。自分の一年をふりかえり、また「よっしゃ、今度こそは」と思いながら、やり直しが始まります。

失敗して、そしてまた失敗して、やり直しをさせてくれる心の準備を、一年というものは与えてくれるのかもしれませんが。

新年のアイススケートもまた、教えてくれるものがありました。40人以上もの参加者を一人が連れていくことも不安がありませんでした。中学生たちが働いてくれました。いつのまにか彼らは「安心」を私に与えてくれていました。彼らは自転車で行動したのですが、先回りして入場券を買ってくれたり、バスの時刻表を見に行ってくれたり、また、小学生たちのスケート靴の紐を結んであげたり、前もって打ち合わせなどしていなかったのですが、私の声掛けに彼らは実によく働いてくれました。

中でも中3が4名、彼らにとっては人生初めての「受験」を控えながら、我を忘れて「人のために」尽くしてくれました。感心100%。

彼らの行動には「思いやり」が深く溶け込んでおり、是非、学校の先生やご両親の方々にご覧いただきたい光景で溢れていました。

紐を結んでくれた中学生たちのことを、きつとちびっ子たちは忘れないでしょう。やがて彼らが中学生になった時、今度はその子たちが再びちびっ子たちに紐を結んであげるときがくることを願っています。

さて、あとは中3の受験生たち諸君、あなたたちの番です。自分に甘えることなく、気を引き締めていきましょう。なぜならその姿は、やがて周りの人たちに笑顔をプレゼントすることになるからです。あなた方の姿が私に「安心」をプレゼントしたように、ご家族の方々や学校の先生方、そして友だちを同じように安心させられるからです。結果ばかり気にしないように、何より大切なことは、取り組み続けるその姿の尊さです。精一杯に取り組むことは、精一杯に命を燃やしていることです。その姿は比べようのない素敵な瞬間です。その逆は周りの人たちを悲しませることになります。「逃げる」ことです。それはとても悲しく映ります。自分に甘えることなく、自分で自分をコントロールできる力を身につけましょう。なぜなら大人になると「叱ってくれるひと」は徐々にいなくなっていくます。であれば自分を叱ってくれるのは自分しかありませんよね。自分の靴紐はしっかり自分で結びながら生きていきましょう。

ケンカっ早いやつもいれば、相変わらずファミコンへ気をとられるものもいれば、釣りこそが人生だと張り切っている者もいれば、本番に弱い者もいるし、学校へ行くだけ行ってさっさと帰ってきてしまうのもいるし、いろいろですが・・・皆、あなたがた一人ひとりのたった一つの人生です。ひとを喜ばせてみよう！ 人を安心させてみよう！ ひとまず私はスケートで安心をいただきました。ありがとう。

クイズ・・・トウキョウ応用・P118 慶応中部部

えんぴつ8本を買うことができる金額でケシゴムを買うと、18個買えて30円余ります。えんぴつ2本の値段はケシゴム3個の値段より75円高い値段です。ケシゴム1個の値段はいくらですか。